



静岡県要介護度改善評価事業において「優秀賞」を受賞しました



↑中央から右側の3人がアクタガワの社員です。



生活リハビリで行っていることは？

- ① 生活に直結する目標を設定し、「**生きがい**を高める」
- ② 身体状況を見える化し、「**やる気**を引き出す」
- ③ 社内検定で専門的な知識をつけ、「**自立支援**を援助する」

アクタガワは、要介護度の改善につながる創意工夫のある効果的な取組を行う「静岡県要介護度改善評価事業」において、静岡県介護保険課が選出する改善率上位5事業所に、ハートフルホーム八幡、ハートフルホーム小鹿公園前、ハートフルホーム城北の3事業所が選出されました。そのなかで、ハートフルホーム八幡が「優秀賞」として表彰されました。

アクタガワで取り組んでいる「生活リハビリ」では、一人ひとりの生きがいを追求し、活動する目的として、社会参加・役割を創出しています。そして、その目的を実現するために日常生活に直結する目標を設定し、成果が実感できるよう身体状況を視覚化して活動意欲を高めています。意欲が高まり習慣化することで介護度が改善され、介護サービスの質の向上だけでなく介護職員の意欲向上を図る好事例として評価されました。

感性にささやく五感の生活

忠臣蔵

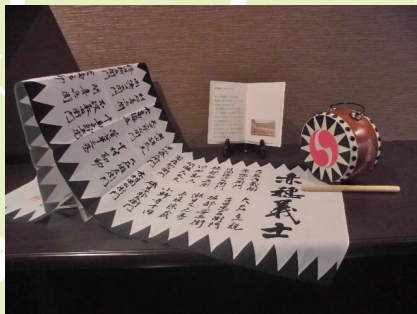
年末の風物詩といえば忠臣蔵。

歌舞伎の演目や映画、テレビドラマで何度も取り上げられています。

大石内蔵助をはじめとする赤穂義士47人が、赤穂藩主である浅野内匠頭の仇討ちをする物語で、江戸時代中期に起きた赤穂事件がもとになっています。

旧暦12月14日は、吉良上野介邸への討ち入りを果たした日。義士が眠る泉岳寺など、全国各地で「赤穂義士祭」が行われ、47士を偲びます。

〈ハートライフ初生〉

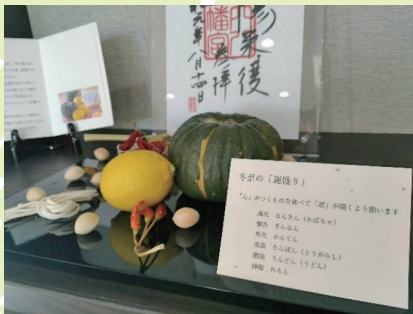


冬至

一年中で昼間が最も短く、夜が最も長い日で、旧暦では11月の中旬、新暦では12月22日頃にあたります。

昔、中国では冬至を暦の起点と考えていたようです。この日を境にまた太陽の力が復活することから、『易経』には「一陽来復 (いちようらいふく)」という言葉が記されています。一陽来復には新年が来るという意味の他に、悪い事が続いた後には良いことがあるという意味も込められています。

〈プレミアムハートライフ大岩〉



クリスマス

クリスマスは、キリストの誕生を祝う「降誕祭」です。11月末頃から、街は色とりどりの装飾品で飾り始められ、「ジングル・ベル」などの曲で雰囲気盛り上がります。

クリスマスカラーと呼ばれる赤・緑・白にはそれぞれ、愛と寛大さ・常緑樹・純潔、潔白の意味があります。ツリーとなるモミの木などの常緑樹は太陽と生命のシンボルであり、「永遠」を表すといえます。

〈ハートライフ高柳〉



「アクタガワの生活リハビリ」は、お客様の生きがいや自己実現に焦点を当てて目標を設定し、その目標に向かってチームで生活における動作の自立や役割作りなどを支援していく取り組みになります。今回は、各事業所で取り組んでいる事例をご紹介します。

■《お客様》K様、男性で88歳の方です。

《病歴》第12胸椎・第1腰椎圧迫骨折

圧迫骨折をしてから、買い物が出来ずにいらっしゃいましたが、4カ月で目標を達成した事例です。ご本人様だけでなく、奥様の生きがいも高めることが出来たと思います。

【喜びのコメント】

始めは緊張したけど、妻のために出来ることが増えてよかったです。(K様)

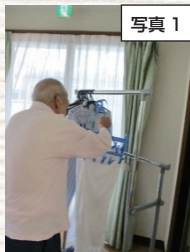


写真1



写真2

■生活リハビリの様子 ■奥様と買い物に行く目標を達成した様子

《ご本人の希望》今まで出来ていたことを続けて出来るようにしていきたい。

《ご家族の希望》買い物など今まで継続していたことを続けてほしい。

《生活リハビリの目標》

短期目標) ① 持続的に歩ける距離を伸ばす。

② 2キロの荷物を持って安全に移動できる。

③ 両手で荷物を抱えて10m歩けるようになる。
(洗濯物を想定)

長期目標) 奥様のために継続して買い物に行くことが出来る。
(写真2)

《生活リハビリのプログラム

(期間：2019年8月～2019年11月)

〈洗濯物〉施設で衣服や洗顔用タオルをハンガーにかけて干す練習(写真1)

〈買い物〉買い物を想定し、2キロ(1ℓのペットボトル2本分)の袋をもち歩行訓練

《生活リハビリでの改善結果》

① 歩行速度が速くなり、横断歩道を渡れるレベルになりました。

② 歩行が安定し、一人で実用的に歩けるようになりました。

2019年度生活リハビリ大賞

アクタガワ生活リハビリ 検索

アクタガワでは、生活リハビリに取り組み、素晴らしい成果をあげているお客様の努力をたたえ表彰しています。今年、有東坂の住田様が「生活リハビリ大賞」を受賞しました。



■生活リハビリ大賞／住田洋子様（ハートフルホーム有東坂）おめでとうございます！

生活リハビリ開始時は、キャスター型の歩行器を使用し、歩行が安定しない状態でしたが、常に前向きに取り組み、次々と課題をクリア。今では階段の昇り降りもできるようになりました。ご友人と外出もできるようになり、職員一同うれしく思います。

■【ビフォア（2017年8月）】生活リハビリ開始「社会参加目標と個別プログラム」

2016年12月脳梗塞後、やりたいことができなくなったという住田様。「早く以前のように家事をしたり、友人と会ったりしたい」という思いを実現できるよう、住田様と理学療法士・介護職員らで「おやつや食事作りのレクに参加したり、食器拭きをして家族の為に夕食を作れるようになる」という社会参加目標をたてました。次に個別プログラムとしてまずは座った状態での食器拭きや、足上運動を実施。椅子の背もたれに寄りかからず実施することで、太ももの筋肉強化と体幹強化を目指しました。

（理学療法士 鵜澤）



■【アフター①(2018年2月)】椅子に座った状態での食器拭き等も安定してきたので、立位に挑戦し、椅子から立ち上がった状態でボールキャッチできるようになりました。

■【アフター②(2019年10月)】階段昇り降り運動も開始しました。

■【アフター③(2019年12月)】階段昇り降り動作も一足一段で可能になり、お盆に載せたみかんも運べるようになりました。

2019年度 新春書道コンクール

毎年恒例の新春書道コンクール。皆様方の介護状態と克服した度合いを考慮して表彰させて頂いています。今年も各施設力作ぞろいです。



己福
祥
文江
久山

亀山 久江様
ハートフルホーム静岡中央

長生
人
杉山
久子

杉山 久子様
PHL 千代田

楽而
康
村山
穂子

村山 穂子様
PHL 千代田

梅花
喜花
望月
初代

望月 初代様
ハートライフ千代田

花陰覆
涼
錫江
堀場

堀場 錫江様
PHL 小鹿公園前

閑居可
以養志
朝比奈
淳代

朝比奈 淳代様
PHL 小鹿公園前



ふじ山
鶴江
言

春田 鶴江様
ハートライフ押切

ふじ山
岩崎
忠一

岩崎 忠一様
ハートフルホーム八幡子

新春
の朝
光枝
佐塚

佐塚 光枝様
ハートフルホーム静岡中央

三寒
四温
酒井
綾子

酒井 綾子様
ハートライフ小石川

開秋聲
涼風
千歳
酒井

酒井 千歳様
PHL 千代田

冬休
諸田
廣彦

諸田 廣彦様
ハートライフ小石川

青松多
壽色
馬淵
京一

馬淵 京一様
ハートライフ初生

笑顔
お目より
信子
北村

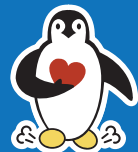
北村 倭子様
ハートフルホーム清水東産

年豊
信子
和田

和田 信子様
ハートライフ千代田



ぺんぎん食堂



12月クリスマスランチ

ミートローフ マッシュルームソースがけ
マカロニサラダ
花野菜のバターソテー
クロワッサン・ロールパン
ポタージュスープ
ショートケーキ 生フルーツ添え

